



令和2年度 第11回まなざしキラリ賞

この賞は、子どもを育む4つの場（家庭、地域、企業等、学校等）で、4つの視点（命、自立、他者とのかかわり、子どもを取り巻く環境）を基準に“キラリ”と光る取り組みをしている団体や個人を表彰するものです。



キラリ大賞



〈個人の部〉

杉山 カズエ（若楠）

地域の子どもたちと交流を始めた昭和50年代の初め頃から40年近く経過した令和の今も、折り紙やお手玉作りなどをおして子どもたちと交流を深められている。若楠校区では『折り紙おばさん』として愛され、保護者の中にも幼少の頃、杉山さんから折り紙を習った大人がたくさんいる。

平成18年以降は、放課後の児童の見守りパトロールにも参加され、公民館で児童を預かる居場所づくり『オープン公民館』でも子どもたちに優しく、時には厳しく接し、子どもたちの成長を見守られている。



〈団体の部〉

鍋島校区長生会（鍋島）

昭和36年の会発足以来、登下校の見守り活動や挨拶活動、清掃活動などを継続されている。また、毎年、鍋島小の運動会では「鍋っ子オリンピック」と称した5種目の競技で、児童とじゃんけんや玉入れ等の競演をされている。また、毎週水曜日の昼休み時間には子どもたちに竹とんぼやコマ回し、あやとりやお手玉などたくさんの「むかしあそび」をおして、校区の子どもたちとふれあい活動をされている。鍋島校区長生会のみなさんは、それらの活動をおして将来を担う子どもたちとふれあい、高齢者の知恵や生き方を伝え、地域社会全体の安心・安全にも貢献されている。



熊井 喜好（勸興）

毎朝5時30分より、児童が登校する前に、学校の正門周辺の清掃、学校東側の歩道や道路の清掃を平成初期から30年に渡って続けられている。秋になると、学校の東側歩道には、学校の樹木から枯れ葉が落ちることもしばしばで、子どもたちが気持ちよく過ごせるように、校門からのアプローチをいつもゴミ一つなく、毎日きれいに掃除をしてくださり、すっきりした環境に整えてくださっている。



江越 浩（循誘）

平成22年『循誘子ども見守り隊』の発足当時から、約10年間、毎朝、材木町の交差点に立ち、交通指導、あいさつ指導などの見守り活動を継続されている。避難訓練の一環で、年6回の全校一斉下校においても、毎回欠かさず児童の引率のために来校され、下校途中は冠水や交通事故の心配がある場所を、子どもたちに分かりやすく教えてもらっている。



堀口 洋子（循誘）

平成30年から、毎朝、欠かさず学校近くの交差点に立って、あいさつ運動、交通指導など、子どもたちの見守りをされている。『おはようございます。いってらっしゃい。』という堀口さんの優しい言葉かけで、子どもたちは自然に笑顔になっている。避難訓練の一環として年6回の全校一斉下校でも、児童の引率をいただいている。



辻田 義一（神野）

平成22年頃から、交通量が多く信号機が見えにくい堀江南交差点にて、挨拶・交通指導をされている。小学生を始め、中学生や社会人などの卒業生にも『〇〇さん、おはようございます。』と名前を声にかけてくださっている。また、子ども神輿、ラジオ体操、しめ縄作り、浮立、餅つき等では、分かりやすいご指導で、文化の伝承にも大いに貢献されている。



古賀 子エミ（神野）

平成16年頃から子どもたちが参加する様々な地域行事の運営に携わり、地域の方々との繋がりを築きながら、校区の子どもたちの育成に貢献されている。また、街頭での見守り活動にも参加され、子どもたちの安心・安全を見守っていただいている。



樋渡 清則（高木瀬）

平成29年から現在に至るまで、毎朝7時過ぎから8時10分頃まで、高木瀬東の沿道で、あいさつ運動を含め、児童の交通安全の見守りを行われている。また、高木瀬小学校で4年生を対象に毎年開催している『ふれあいの集い』では、積極的にお世話をされている。



甲斐 諭（新栄）

平成16年頃から新栄小学校PTA祖父母の会の皆様と一緒に、毎朝、校門近くで子どもたちの安心・安全を常に考え、見守り、声かけ活動をされている。おかげで子どもたちは安心して登下校をすることができている。



笠田 誠 (東与賀)

平成23年度から、東与賀郵便局長業務の傍ら、毎年、11月から12月に開催している東与賀公民館子ども教室「絵手紙教室(全2回)」で、郵便局の年度最大の年末繁忙期にもかかわらず、快くボランティアで講師を引き受けていただいている。道具の用意と丁寧な指導をいただき、子どもたちは毎年楽しみにしている。また、でき上がった作品はパネルに貼って仕上げをいただき、東与賀小学校や東与賀町民文化祭で展示して、多くの地域の方々にも見てもらい、大変好評を得ている。



眞子 健治 (東与賀)

平成25年度から佐賀大崎郵便局長業務の傍ら、毎年、11月から12月に開催している東与賀公民館子ども教室「絵手紙教室(全2回)」で、郵便局の年度最大の年末繁忙期にもかかわらず、快くボランティアで講師を引き受けていただいている。絵手紙の指導はもちろん、消しゴムで、子どもたちの落款づくりの指導もされ、落款が入ると作品がよりいっそう栄え、でき上がった落款は子供たちの宝物になっている。



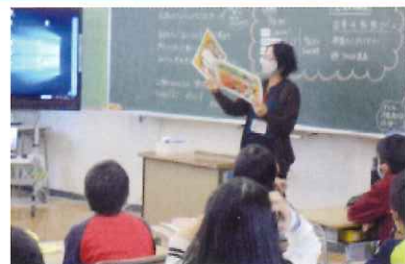
勸興花づくり同好会 (勸興)

平成19年より勸興小2年の生活科でじゃがいも作りを指導されている。種芋植えから、芽かきや育つためのお世話、収穫までを子どもたちに分かりやすく説明され、観察しやすいように随時手入れをされている。秋ジャガイモの種芋植えの前には、じゃがいもが育ちやすいように土を耕し、土づくりをされ、収穫後は、小学校で開催する「じゃがいもパーティー」で祝い、子どもたちとふれあいを持たれている。



ティンカーベル (日新)

10年以上前から、日新小の保護者の方と日新の地域の方でつくる読み語りボランティア「ティンカーベル」として、活動をされている。年間10回、小学校の朝の時間に、各教室で読み語りをされ、子どもたちも読み語りの時間を楽しみにしている。読み語り用の本は自費購入をされ、学級文庫へも寄贈されている。



西与賀おやじの会 (西与賀)

平成24年当時、西与賀小PTAの役員をされていた父親達がPTA活動をとおして仲良くなり、懇親を深めたことがきっかけで始まった。年に4回程度、西与賀小グラウンドの草刈り、木の剪定、プランターへの花植えなど、小学校の美化活動に取り組まれている。活動をとおして、先生方との交流も深められている。



読み聞かせ「おはなしや」(嘉瀬)

読み聞かせ「おはなしや」は、平成11年に始まり、20年を数える。月2回金曜日の朝に、学級毎に読み聞かせを行っている。構成員は現在13名で、地域の方や保護者からなり、発足当時のメンバーも新しいメンバーと共に現在も活動されている。夏の平和集会で大型スクリーンでの読み語りや、毎年2月に卒業生に向けたお話を開催するなど、読み語りによって、子どもたちに本の面白さ、楽しさを伝えている。



藍・愛をつむぐ会 (嘉瀬)

平成17年に藍・愛をつむぐ会が発足。毎年、嘉瀬小6年生とその保護者に対し、藍の葉の刈り取りから、ハンカチなどの藍染め指導を行っている。平成21年からは嘉瀬小学校の藍染めクラブの活動支援を始め、藍染め、綿摘み、糸繰りなどの貴重な体験の場を提供、嘉瀬小の児童にとって身近な存在となっている。また、地域の子ともと大人が交流する機会を計画的に設けることで、地域ぐるみで子どもを育てる気運を高められている。



高木瀬小落語クラブゲストティーチャー（高木瀬）

平成28年から、高木瀬小のクラブ活動の一環である落語クラブのゲストティーチャーとして、クラブ部員の指導をされている。高木瀬地区公民館文化祭にも落語クラブとして出場しており、文化祭に向けての指導も昼休みにされている。6年生が毎年行っている「伝統文化体験教室」においても落語体験の講師として、児童へ落語の面白さや基本的な言葉やしぐさについて指導されている。



東高木ハッピーカフェ実行委員会（高木瀬）

平成29年から、地域に住む子どもたちから大人までおしゃべりする交流の場を創ることを目的として、地元の東高木公民館にて、実行委員会が主催して「東高木ハッピーカフェ」を開催されている。地域の子どもたちもカラオケやクイズなどに気軽に参加し、イベントの一つとして、「子ども落語」を毎年開催し、子どもの活躍の場と地域の方との交流の場を提供されている。



坂井祖父母の会（新栄）

平成24年から20名の会員で、新栄小学校の子どもたちに昔遊びや苗植え、グラウンドゴルフクラブ、将棋クラブなどのクラブ活動の指導をされている。年間とおし、登校日の毎朝、交差点や校門で見守り活動と挨拶運動を続けられている。下校時も校区内の通学路や公園、空き地などを中心に、防犯・安全の見守り巡視を行い、声かけ運動をされている。夏休み期間中のラジオ体操と、3月の6年生とのお別れ会などにも積極的に参加され、子どもたちと交流を深められている。



若楠子どもを見守る会（若楠）

平成24年からSAGAアリーナ前交差点などでの朝の交通安全見守り活動をされている。また、午後3時30分より子どもの下校時間に合わせ、ウォーキング、ジョギング、犬の散歩、買い物など普段行っていることと合わせ見守り活動を行う「3・30見守り運動」を実施され、校区における“ながら防犯”の先駆けと言われている。
毎月第1水曜日は、活動強化日として若楠子ども見守りデーを開催され、校区の子どもの安全・安心の要としての役割を果たし続けられている。



西川副老人クラブ連合会（西川副）

約10年前から毎月、地域社会の一員として子どもたちを見守り、交通事故から守るために、西川副小学校の登校時間に交通安全立ち番が行われている。また、各地区の通学路の見通しの悪い交差点で、子どもたちに交通指導をしながら声かけを行い、あいさつで子どもたちと地域がつながる機会を設け、子どもたちの健やかな成長を願い、活動されている。



読書ボランティア（西川副）

20年以上にわたり、西川副小の児童のために、月曜日の朝の時間に絵本の読み聞かせをされている。子どもたちは1年生から6年生まで、毎月やってくるこの時間をとても楽しみにしており、西川副小学校の図書館教育に大いに貢献されている。

